抗原簡易キットの使用方法

|  |
| --- |
| ■　キットの保存  　 　・キットは、直射日光を避け、１～30℃で保存してください。  　　 ・幼児の手の届かない場所に保管してください。  ・反応カセットの入ったアルミ袋は、使用前まで開封しないでください。  ・キットやチューブの溶液は、皮膚への付着・目や口へ入らないよう注意してください。 |
| １　検査用品の準備  中身   * 綿棒 * チューブ 市町村から配布 * 滴下チップ（キャップ） * 検査キット   ・キットを冷蔵保存していた場合、使用前に室温（20～37℃）に戻したあと、袋から取り出してください。  ・キットは極めて燃焼性が高いため、火気の近くでは使用しないでください。   * 手袋（可能な限り着用） * ゴミ袋　　　　　　　　　　　　　　　　各家庭で準備 * タイマー |
| ２　検体採取  **綿棒　　チューブ 滴下ﾁｯﾌﾟ　　検査キット**  **（ｷｬｯﾌﾟ）　　（反応ｶｾｯﾄ）**  　　綿棒を用いて、鼻腔ぬぐい液を採取します。  　　①綿棒を鼻孔入り口から2cm程度、粘膜部分をぬぐうようにしてゆっくり挿入します。  　↓  　　②綿棒を５回程度ゆっくり回転させます。  　　　　↓  　　③５秒程度静置し、綿球を十分湿らせた後、そっと引き抜きます。 |
| ３　検体の抽出  綿棒を入れて10回程度回転     1. チューブの蓋(シール)を、中の液がこぼれないよう注意しながら　はがし、綿棒をチューブに浸します。   　　　　↓   1. チューブの周りから綿球をはさみ、もみながら     綿棒を10回程度回転させます。  キャップをはめてから5分間待つ  　　　　↓   1. 綿球から液をしぼり出しながら、綿棒を取り出します。   綿棒はゴミ袋に処分します。  　 　　↓   1. 滴下チップ（キャップ）をチューブにはめ込み、横にして、   ５分静置します（タイマーなどで時間をはかってください）。  ４　２滴たらす   1. ５分経ったら、滴下チップ（キャップ）を付けたまま逆さにし、チューブを軽く押し、   液をキットの紫色の検体滴下部に２滴たらします。  ２滴  たらす  最初に泡が出る場合は1滴ゴミ袋に捨ててから行ってください。  キットとキャップの先端を1cm以上離してたらしてください。  　　　　↓  　 ②オレンジ色のボタン（凸部）を上から  すぐに！  押し込み、凹ませます。  （すぐに押し込まないと反応しません。）    押し込む |
| ５　反応  30分間待ちます。　　（タイマーなどで時間をはかってください。） |
| ６　判定  ○陽性　　　：　ｒとTの両方に青色のラインが出現した場合  ○陰性　　　：　ｒに青色のラインが出現し、Tに何もラインが出現しなかった場合  ○再検査 ：　ｒに青色のラインが出現しなかったり、反応前のピンク色ラインのままの場合、反応が正常に行われなかった可能性があります（判定不能）。キットがもう一つある場合は、検査方法を再確認の上、もう一度検査をお願いします。 |
| ■　参考資料  　　 検体採取や検査の方法は、メーカーのホームページに動画で掲載されて  いますので、御確認の上実施してください。  　　　【富士レビオ（株）】  <https://www.fujirebio.co.jp/products/espline/sars-cov-2/index.html> |